

地域計画策定に当たり「市民満足度調査」の分析から優先施策の4分野を抽出

- 地域計画の策定過程において、施策分野の設定に当たり青森県と合同ワーキングにより検証を行い、「市民満足度調査（平成26年度実施）」で要望の高かった分野に視点を置き、優先順位の高い以下の4分野を施策分野として位置付けた。
 1. 主要幹線道路ネットワークの健全化「交通・物流」分野
 2. 防災公共の推進(避難所の機能確保)
 3. 新体育館、むつ総合病院耐震化構想
 4. リスクコミュニケーション
- これらの4分野は、ハード事業とソフト対策のベストミックスによる優先的かつ着実な事業の推進を図ることとした。

ハード事業とソフト対策を組み合わせた国土強靱化の推進

- 平成27年6月のむつ市総合体育館の用途廃止を受け、防災機能の強化、地域戦略による地域振興を図るため、以下の構想の下、新体育館の早期建設を平成30年より進めているが、同構想の策定には、地域計画策定時に行った救援物資集積所及び救護所に関する「脆弱性評価」における「二次集積所機能を有する既存施設の欠如、被災者を受け入れる救護所スペースの確保が必要である」との結果が活かされている。
 1. 救援物資の二次集積所及び救護所等の防災機能を有する施設
 2. 子供、高齢者、障がい者など多くの市民が利用できる施設（競技スポーツ拠点、健康づくりの拠点）
 3. 教育の向上に繋がる施策（むつ市の将来を担う子供たちのための施策）

(救援物資集積所及び救護所の「脆弱性評価」と具体施策の進め方)

【救援物資の集積所・救護所の再検証】

救護物資	地区	施設名	耐津波性能	耐震性能	アリーナ・講堂等面積
	むつ	中央公民館	×	○	278.70㎡

救護所	地区	施設名	耐津波性能	耐震性能	アリーナ・講堂等面積
	むつ	中央公民館	×	○	278.70㎡
	川内	川内体育館	○	○	952.00㎡
		川内公民館	○	—	324.00㎡
	大畑	大畑体育館	×	—	972.00㎡
大畑公民館		×	—	209.16㎡	
脇野沢	地域交流センター	○	○	463.54㎡	

・中央公民館は「浸水区域」内に立地。

耐津波性能に問題

・「むつ市民体育館」の廃止により集積所としたスペースを有する施設がない。
 ・大畑地区の救護機能はむつ地区でカバーしなければならない。

スペース不足の問題

防災機能の強化

新体育館の建設(平成27年度基本構想着手)

- 地域戦略**
- ・むつ市民体育館廃止による屋内スポーツ施設の拠点整備
 - ・市民の競技スポーツ・健康推進の拠点 ・教育の向上に繋がる施策

地域振興

